



# 東地区の高齢化を考える

九月十五日(月・祝)は、敬老の日です。前橋市では、昨年に比べ、高齢化率(65歳以上)が30%を超えていますが、東地区ではいかがでしょうか？



NO	町名	人口(人)			65歳以上人口(人)			高齢化率(%)
		男性	女性	計	男性	女性	計	
1	箱田町	2,834	3,040	5,874	587	746	1,333	22.69(22.54)
2	後家町	437	450	887	60	72	132	14.88(14.24)
3	前箱田町	688	672	1,360	178	204	382	28.09(27.48)
4	前箱田町二丁目	199	213	412	57	79	136	33.01(33.01)
5	川曲町	1,033	1,065	2,098	264	340	604	28.79(28.36)
6	稻荷新田町	794	839	1,633	156	182	338	20.70(20.21)
7	下新田町	1,775	1,913	3,688	360	447	807	21.88(21.96)
8	上新田町	1,705	1,784	3,489	418	510	928	26.60(26.15)
9	小相木町	1,110	1,110	2,220	225	271	496	22.34(22.34)
10	小相木町一丁目	132	176	308	47	70	117	37.99(39.02)
11	古市町	592	558	1,150	118	146	264	22.96(22.99)
12	古市町一丁目	707	712	1,419	160	219	379	26.71(27.57)
13	古市町二丁目	25	27	52	6	8	14	26.92(31.91)
14	江田町	1,228	1,167	2,395	231	270	501	20.92(21.20)
15	朝日が丘町	119	140	259	28	46	74	28.57(27.99)
16	光が丘町	302	329	631	96	121	217	34.39(34.26)
17	大利根町一丁目	653	749	1,402	208	270	478	34.09(34.90)
18	大利根町二丁目	562	669	1,231	214	302	516	41.92(41.99)
19	新前橋町	332	341	673	81	105	186	27.64(26.88)
20	青葉町	316	321	637	33	30	63	9.89(9.13)
	東地区	15,543 (15,657)	16,275 (16,284)	31,818 (31,941)	3,527 (3,536)	4,438 (4,430)	7,965 (7,966)	25.03% (24.94)

前橋市

人口計

327,960人  
(329,453)

65歳以上人口

99,571人  
(99,639)

高齢化率

30.36%  
(30.24)

令和7年6月30日現在の数値です。( )内は前年度の数値です。

## 敬老の日を迎えて

### ちよっとだけ前の話



### 高橋金平さん(稻荷新田町)

私の家は農家でした。農家でしたと書くのは今は農家ではないということですが、でも今日は農業で暮らしていたときの話を書くことにします。

私の祖父は本家から三反くらいの農地を貰って新宅に出ました。西隣村の田中村の娘を嫁にもらい、力を合わせて一生懸命に働いてきました。今と違って昔は皆、大家族でした。私の父は長男でしたが働き盛りの頃、シナ事変、満州事変、大東亜戦争、全て召集されました。台湾、フィリピン、ビルマ、マレー、ラングーンなどに転戦していた様子を父は母に戦時郵便で知らせていました。

やっと戦争が終わって父は取り戻すように農業に打ち込み、農地も九反歩に広げ、桑の苗を植えて養蚕にも励みました。五月五日頃には蚕の掃立てが始まります。この頃になると小学校低学年だった私も朝飯前仕事で桑切をして蚕に与える仕事を担っていました。蚕が十分成長する六月二十日頃には、まぶしに上げて繭を作らせる上ぞくになります。そして六月二十五日頃には麦刈り、月末には馬で田起こし、代掻き、そして田植えとなります。もちろん皆で手で植えます。春になってしまっても息つく間もありません。春に木々が新芽を出すころになると桑の木も芽吹きます。その頃になると私は子供心に、また大変な時期になると思い、毎年、胃が痛くなりました。大人になってから健康診断で胃潰瘍の痕があると知らされましたが、このときのものだったと思います。

もう一つ、馬の話を。私の家はお金の余裕がなかったため、人の言うことを聞く穏やかな良い馬は買えませんでした。父は少し気性が荒い馬の方が頑張れるんだと言って手ごろな値段の馬を買っていました。私が小学三年生の頃だったか、馬のはんどり(鼻取り)をしていたときのことです。馬は疲れていやになると暴れるのですが、ある時、私は暴れる馬を抑えようとはんだりの棒を引っ張ったところ、ガンと後ろ足で頭を蹴られ、一瞬で失神。気が付くと父に抱き起こされていました。額が痛いなど思わず手をやった先は手ぬぐいで固く縛られ、手に少し血が付いていました。父はすぐに私を自転車に乗せて箱田の八木医院へ向かいました。先生に診てもらおうと、かなり深い傷だから関口外科に行くようにと言われ、また自転車で紅雲町へ急ぎました。先生と看護婦さんの、麻酔は効かないねという声が聞こえ、「少し痛むが我慢してくれ」と言われて覚悟しました。ベッドに斜めに寝かされて傷口に細口の水を注ぎ、ピンセットで馬の蹄から付いた土を掻き落とし、いききました。このときの傷跡は今も残っています。後々、メリーテラーが家にやってきたとき、私はこんな嬉しいことはないと思います。アクセル一つで人間の思うように動いてくれます。その後、耕運機なるものが登場し、農業が未来に向かっているのを感じました。

勢多農林高校の帰り道、前橋駅前の赤城書店に寄って機械化農業という雑誌を見るのがとても楽しみでした。

## 大利根団地で五十年余

### 倉島繁治さん(大利根町)

分譲の最終グループで移住、わずか三か月後に転勤で京都へ引っ越し。その後の転勤もあり、結局約十五年間を西日本中心に過ごしたことに。この期間を含めて仕事と趣味で全国全県を訪問できて学び楽しんだことは幸い。

○日本百名山登山は七五座まで。北アルプスの槍ヶ岳や屋久島の縄文杉に感嘆。

感激体験：役(えんの)行者が修行した奈良県の大峰山奥駆道を踏破できた。

貴重体験：北アルプスの笠ヶ岳(2897m)で雷鳥の「偽傷行動」を直近で目撃。(敵から子を守るために親がケガをしたように見せかけて注意を逸らす行動)

○ローカル鉄道の旅 東北地方東西の全肋骨線・マタギの秋田内陸縦貫鉄道・復活した三陸鉄道・鳥も通わぬ？飯田線・楽しい飯山線・秘境只見線。

○日本列島の雑多な地域性に納得。でも「多様でありながらひとつ」に感激！

関西圏では府県ごとに県民性が異なるのに、関東圏ではほぼ均一。

大阪：「食い倒れ」に象徴される飾り気のないエネルギー、フレンドリー。快感や愉快さといった機能を追求・重視する傾向。

京都：都の千二百年間に培われた大都市生活のノウハウを確立。美意識や伝統文化が織りなす高度に洗練された価値観。三代住んで京都人に。その水準は「世界一」と思われる優越感が支配する。

関東：基本的な価値観は「真面目に頑張ること」と思われている。

○自転車で回遊して、東地区の姿がよく見えるように。多くの文化財のこと、地味豊かな土地に用水が供給され豊かな稔りをもたらしていること。ご先祖の功績に続く努力のたまものと理解。

○天狗岩用水への関心から「利根川の変流研究」を始め、地元に残る貴重な伝説を『東公民館だより』5月号に報告。

○豊かに育つ麦や稲の緑を鑑賞することで心がいやされる。すくすく育つ麦や早苗の美しさ！高齢者も感激させてもらえる、ありがたい。



槍ヶ岳山頂にて

